

平成 20 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成 21 年 1 月 6 日(火) 18:00~20:30

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟 3 階・大会議室

[参加者] 12 名:宮城春代(沖縄県看護協会) 伊藤昌徳(ハートライフ病院) 島袋恭子(中頭病院)、古謝隆(沖縄県医務・国保課) 喜納美津男(きなクリニック) 栗山登至(アドベンチストメディカルセンター) 宮川真一(県立南部医療センター・こども医療センター) 笹良剛史(南部病院) 友利健彦(北部地区医師会病院) 上田真(県立中部病院) 中村清哉(琉大病院) 増田昌人(琉大病院)

[欠席者] 2 名:足立源樹(那覇市立病院) 棚原 陽子(琉大病院)

[陪席者] 3 名:神里長次郎(沖縄県医務・国保課) 幸地崇(琉大病院総務課) 桃原ひかる(琉大病院)

[報告事項]

1. 「平成 20 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について(資料 1)
協議に先立ち、平成 20 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア部会議事要旨が承認された。
2. 「第 2 回沖縄県緩和ケア研修会 2008」について(資料 2)
笹良部会長より、資料 2 に基づき平成 20 年 12 月 20 日・21 日に行われた「第 2 回沖縄県緩和ケア研修会 2008」について報告があった。アンケートの集計によると、“作業量が多い”“長丁場できつい”等の意見も多かったが、「今後、他の指導医にも講習会への参加を勧めたいか」という問いには 86% が勧めたいと答えており好意的な回答が得られたとの報告があった。また、プレテスト・ポストテストの結果をみると第 1 回の研修会と違う結果になっており、施設・地域において違いがあるか等今後解析が必要であるとの意見があった。
3. 「平成 20 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会」について(参考資料)
笹良部会長より、参考資料に基づき平成 20 年 12 月 19 日に行われた「第 2 回沖縄県がん診療連携協議会」について報告があり、緩和ケア部会より提案した 2 つの提案書については詳細を掘り下げて議論する必要があるとの指摘があり、今後の部会でさらに突き詰める必要があるとの説明があった。
4. 「第 3 回沖縄県緩和ケア研修会 2008」進捗状況について
上田委員より、「第 3 回沖縄県緩和ケア研修会 2008」について進捗状況の報告があった。

[協議事項]

1. 委嘱状授与
協議会議長の代理として増田委員より、宮城春代委員、伊藤昌徳委員、島袋恭子委員に委嘱状が交付された(棚原委員は欠席の為、後日送付)。
2. 緩和ケア部会委員の追加について(資料 3)
笹良部会長より、宮城委員、伊藤委員、島袋委員、棚原委員が部会委員に加わったとの報告があり、まだ決まっていない患者、患者の家族・遺族、有識者については、引き続き人選をお願いしたいと再度依頼があった。
3. 協議会への要望書再検討(参考資料)
参考資料に基づいて、協議会へ提出した 2 つの提案書について再検討を行った。提案書 1 については、緩和ケアに関する現状・問題点を明確に把握する必要があり、全県的にアンケート調査を行う

ことが全会一致で承認され、調査内容については次回に持ち越された。また、提案書 2 については、ホームページ上で公開すべき内容について各部会委員よりアイデアを出し、次回の部会で案を持ち寄ることが全会一致で承認された。

4 . 次回開催日について

次回の部会は、平成 2 1 年 2 月 3 日 18 時より開催されることが承認された。

5 . その他

友利委員より、「第 4 回沖縄県緩和ケア研修会 2008」について進捗状況が報告された。また、笹良部会長より 1 月 17 日・18 日に行われるシンポジウムで緩和ケア研修会について情報提供を行うとの報告があった。また、増田委員より部会委員について有識者の枠にマスコミの方を入れてはどうかという提案があり、承認の可否については次回に持ち越された。